高田川新聞

2019年 6月24日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲 七月場所
令和元年 7月7日より
15日間
於 ドルフィンズアリーナ
（愛知県体育館）

高田川部屋
七月場所　名古屋道場
名古屋市港区東茶屋1-556

高田川部屋に初の三役力士誕生！

技能賞を決めた千秋楽の碧山戦

竜電　技能賞で小結昇進

年号が令和に改まって最初となる五月場所は、大阪場所全勝優勝の横綱・白鵬が休場し、期待の新大関・貴景勝も怪我で途中休場。そんな中、横綱・鶴竜、大関復帰を狙う栃ノ心と終盤まで競り合いながらも平幕の朝乃山が好調を維持し、初優勝を飾った。高田川部屋では、幕内の二関取が明暗を分ける形となった。

竜電は、自己最高位の前頭三枚目で臨んだ昨年の九州場所から二場所続けて六勝九敗と負け越して番付をじりじりと十一枚目まで下げていたが、平成最後の場所となった大阪場所で入幕から三度目の二桁十勝。勢いそのままに臨んだ五月場所も初日から好調な出足で三連勝し、正代、隠岐の海に敗れるもすぐさま三連勝。勝ち星を先行させて三役以上の上位陣と当たる後半戦に臨んだ。大関・高安、初の結びの横綱戦で鶴竜には敗れたが、大関の豪栄道、御嶽海、逸ノ城に勝ち、勝てば技能賞獲得という条件付きだった千秋楽の碧山戦も、うまく攻めて大きな相手を土俵に沈めた。三役以上の力士を相手に四勝二敗という成績は技能賞に相応しい。そして、今年二月の婚約発表から二場所連続で十勝した竜電に、相撲の神様は予想もしていなかった結婚祝いを用意してくれていた。名古屋場所での小結昇進である。高田川部屋に初の三役力士が誕生した。大怪我から這い上がった不屈の精神で、これからもこれまで以上に相撲道を邁進し、まだ先にある、もっと大きな夢を叶えてもらいたい。

輝　序盤の戦いが鍵

ここ最近の輝は、特に場所終盤に調子を上げ、いい相撲を観せてくれるので「次の場所こそは」と誰もが期待するが、どうしても前半戦に星が稼げない。この名古屋場所で幕内在位二十場所目となるが、幕内で連勝スタートしたのはたった一度だけ。今年の一月場所同様、この五月場所でも前半戦に黒星を並べ、得意な相手にすら勝てない。しかも、後半戦に入っても不調は続く。元々、まじめな性格ゆえ、技術的な問題というよりも精神面が崩れているように見えた。武器である激しい突っ張りが出ない。足が出ない。中途半端に差しにいって中に入られる。相撲がバラバラで、体も心も何もかもがフリーズしていた。そんな呪縛からようやく逃れられたのは、十三日目の矢後戦から。佐田の海、石浦も一気に押し出して前に前に出る輝の相撲が甦っての三連勝。石川県出身の輝は、名古屋場所は準ご当地。今度こそスタートダッシュを決め、精神的にも突き抜けて初の二桁勝利をもぎ取ってほしい。

期待ふくらむ新弟子たち

自己最高位の幕下五枚目で幕下上位に挑んだ湘南乃海が、よもやの初日から五連敗で一勝止まり。また、少しずつ番付を戻していた安芸乃山も四連敗を挟んで二勝と幕下の二力士が精彩を欠く結果となった。三段目の大野城は粘っこい相撲で最後の一番で勝ち越しを決め、幕下への再昇進を決めた。これまで三度、幕下で跳ね返されたが、四度目の挑戦、今度こそ幕下で勝ち越して三段目卒業といきたい。また、出場できるかどうかはまだ未定だが、怪我のため十両を全休した白鷹山も幕下へ下がる。関取へのサバイバルゾーンである幕下でこの四人にはガッツある相撲で存在感を示してもらいたい。

三月場所は就職場所と言われるほど角界に新弟子たちが大勢入門し、そのほとんどが前相撲からスタートを切る。つまり、年六場所の中で一番序ノ口のレベルが上がるのが五月場所ということになる。ご存知の通り、大相撲の世界では、体格や学歴は関係ない。相撲経験のない中学卒業したての力士が大学で相撲部だった力士と当たる可能性もあるのだ。そんな中、初めて番付に名前の載った十五歳入門の大辻、真庭山を含め、この二年の間に入門した新弟子たちが少しずつ力をつけ奮闘している。新弟子六名中、四名が勝ち越し。勝ち越せなかった二名もしっかりと三勝。このところ番付を下げている三段目、序二段の兄弟子たちもうかうかしていられない。新弟子たちの台頭で部屋がより活性化してくれることを願う。

序二段で五勝をあげた長谷川

幕下再昇進の大野城

＜竜電　結婚式＞

令和元年6月9日、ホテルニューオータニ東京にて竜電の結婚披露宴が行われ、森喜朗 元首相をはじめ、後援会の皆様ら約430名にご臨席賜わっての盛大な式となりました。また、引出物として化粧まわしと同じ図柄の、地元・甲州印伝の厄除け「龍の鱗」柄のオリジナルポーチをお持ち帰りいただきました。

写真は竜電と新婦の麻惟さん

※表記の番附は正式発表前の予想

小結	竜電	○○○○●●○○ ●●○○○○	先場所 10勝5敗	夏場所は肩に余計な力が入らずいい動きができた。もっと早く力強く攻め、動きを止めないで、上位陣との戦いでも二桁勝利を狙って思い切り自分の力を試したい。
幕内	輝	●●○●●●○ ●●●○○○	先場所 5勝10敗	ここ最近で一番立ち上がりが悪く自分自身に腹が立つ場所だった。最終盤なんとか自分の相撲が取れたが話にならない。気持ちをしっかり強く持って名古屋で暴れたい。
幕下	白鷹山		先場所 全休	怪我によって失った物もあったが、得る事もあった。今場所はそれを出して再十両目指して頑張っていきたい。
〃	湘南乃海	●●●●●○ ●●○●●●	先場所 1勝6敗	自分を信じきれず悪い相撲ばかり。とにかく自分を信じ、体も気持ちも前に出して絶対に先場所の借りを返す。
〃	安芸乃山	○●●●●○ ●●●●●●	先場所 2勝5敗	立ち合いで押し込むことができず後手にまわってしまった。しっかりと当たって前に出る相撲で五、六番勝ちたい。
〃	大野城	○●●○○● ○●●○○●	先場所 4勝3敗	最後まで諦めない相撲で勝ち越せた。攻めながら厳しく自分の相撲を取りきって初の幕下勝ち越しを決めたい。
三段目	恵比寿丸	○●○○○● ●●●○○○	先場所 5勝2敗	五勝できたが、投げにこだわるだけではなく、前に出る相撲をもっと磨いて今場所も勝ち越し以上を狙いたい。
〃	大雷童	●●●○○○ ●●●○○○	先場所 3勝4敗	先場所は立ち合いに迷いがあり集中力に欠けた。自分の相撲は前に出るだけ。迷わず行って最低五番は勝つ。
〃	大乗	●●○●●●● ●●●●●○	先場所 1勝6敗	先場所の足が動かず大負けした分を取り返すよう前に出て中に入る自分の相撲をしっかりやって大勝ちしたい。
〃	須磨ノ海	○●●○●● ○●●○●●	先場所 2勝5敗	相撲がバラバラだった。カチ上げてリズムよく突っ張っていく相撲を磨き、暑さに負けずに勝ち越し目指したい。
〃	剛力山	●○●●●● ●○●●●○	先場所 2勝5敗	夏場所では立ち合いから攻める相撲が取りきれなかった。地元場所で気合一番、攻めて攻めて必ず勝ち越したい。
〃	勝武士	○●●○○○ ●●●○○●	先場所 4勝3敗	立ち合い迷いなく気持ちが前に出た時はしっかり勝てた。いろんな攻めを試し、一つでも多く白星を積み上げたい。
序二段	前乃富士	●●●●●● ●●●●●○	先場所 1勝6敗	夏場所は不甲斐ない成績で終わってしまった。名古屋場所では確実に勝ち越すためにもっと稽古に精進して臨みたい。
〃	暁	●●●●○○ ●●●●○●	先場所 2勝5敗	攻めが遅く受ける相撲が多くなっていた。徐々に膝はよくなっているので名古屋で勝ち越して絶対三段目に戻る。
〃	長谷川	○●●○○○ ○●●○○○	先場所 5勝2敗	力任せの強引な相撲ではなく、立ち合いの圧力、速さを磨いてしっかりとした相撲で五勝以上を狙って頑張りたい。
〃	天恵	●○○●●○ ●○○●●○	先場所 4勝3敗	夏場所は前に出る相撲で勝ち越せてよかった。稽古で弱点を潰していき、連続勝ち越しで三段目に近づきたい。
〃	前大将	○●●●○● ○●●●○●	先場所 3勝4敗	結果を気にしすぎず、気持ちを強く気迫ある攻める相撲で名古屋の暑さを吹き飛ばすような相撲を取りたい。
〃	藍	○○●●●○ ○○●●●○	先場所 4勝3敗	三場所ぶりに勝ち越せて嬉しい。名古屋では番付が上がっても続けて勝ち越せるように稽古に励みたい。
〃	大辻	○●○●○○ ○●○●○○	先場所 4勝3敗	落ち着いて勝ち越せたが最後も勝ちたかった。まずはできることからしっかり稽古をして怪我を一刻も早く治したい。
〃	櫻	●●●●○● ●●●●○●	先場所 2勝5敗	足が出きらず二勝止まり。新弟子たちに負けないよう名古屋場所では下半身を強化して勝ち越し目指して挑みたい。
序ノ口	松ヶ島	●○○●○● ●○○●○●	先場所 3勝4敗	突っ張り切れず組みにいって勝ち越せなかった。日々テッポウ柱と向かい合って初の勝ち越し目指して頑張りたい。
〃	真庭山	●●○○○● ●●○○○●	先場所 3勝4敗	土俵際で踏ん張れなかった。四股、テッポウ、すり足でしっかり足腰を鍛えて今場所は必ず勝ち越しをしたい。

※五月場所より、「横山」改め「真庭山」

立行司　式守伊之助の目

千秋楽、米国のトランプ大統領が大相撲を桝席から観戦された。勝てば二場所連続の二桁勝利と技能賞獲得がかかった竜電の取組も運良く世間注目の観戦五番内に入った。だが相手は苦手巨漢の碧山。本場所でも巡業稽古土俵でも竜電が碧山に勝ったところを観たことがない天敵中の天敵。軍配返り、竜電鋭くぶちかましたが碧山も冷静に反撃に出た。左からいなし、碧山の体勢が崩れる。碧山持ち直した竜電の取組も運良く世間注目の観戦五番内に入った。だが冷静にいなし、碧山の圧力をかわした。そして、動きの中から素早く上手まわしを引くと同時に長身竜電特有の遠心力を利用しての豪快な上手投げが決まった。令和最初の技能賞に相応しい一番だった。トランプ大統領にも相撲の技と醍醐味をご堪能いただけたのではないか。

高田川 親方の 喝！

竜電は初日から集中して良い相撲を取り、上位陣と総当たりにもかかわらず存分に戦って二桁勝利をあげた。また力士として一番誇れる技能賞をもらい、まだまだ直すところはあるにしても最高の場所であった。場所前の稽古では竜電、輝ともにいい稽古ができていたので竜電の成績は予想できていたが、輝に関しては「勝ちたい。負けたくない」という気持ちばかりが先行し、全く相撲になっていなかった。今回改めて肌で感じ、再認識させられたことは、相撲は精神面にものすごく左右されるものだということだ。二人を通して私自身も勉強になった。関取以外の力士たちも、気持ちが強く前に出て闘志あふれる相撲を取る力士もいれば、引いたり叩いたり楽な相撲で勝とうとする力士もいる。両者では明暗がくっきりと別れる。部屋一丸となって前を向いて強い気持ちで突き進んでもらいたい。

＜ご案内＞

高田川部屋 激励会
令和元年6月30日(日)　午後6時 開宴

高田川部屋 千秋楽祝賀会
令和元年7月21日(日) 午後6時半 開宴

※ 会場は両日とも高田川部屋　名古屋道場（会費制）

お問い合わせ　／　行司　式守伊之助
090-3215-6524　ショートメールでお願いいたします